

東北地区ESD環境教育 プログラム成果発表会

ESDってなあに？ 知ろう！ 学ぼう！ 行動しよう！

2015
2/15(日)

入場無料

「ESD」＝持続可能な開発のための教育。
難しいことのようにも思われるけど、環境について学ぶことや、
地域の伝統や人と触れるのも大事なESDです。
ESDは、地域の将来をみんなで考え一緒につくること。
その実践が東北各地で広がっています。



2015. 2/15(日) 13:30～16:50 日立システムズホール仙台2階 交流ホール

(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 仙台市青年文化センター)

13:30～東北6県ESD環境教育プログラム実践事例発表

今年度、市民団体が学校や地域の人たちと一緒にやった環境教育の実践事例を発表します。

- ・青森県:NPO 法人 かなぎ元気倶楽部
- ・岩手県:NPO 法人 環境パートナーシップいわて
- ・宮城県:NPO 法人 まなびのたねネットワーク
- ・秋田県:一般社団法人 あきた地球環境会議
- ・山形県:カワラバン
- ・福島県:NPO 法人 いわきの森に親しむ会

15:20～パネルディスカッション

ファシリテーター:近藤祐一郎(東北工業大学工学部環境エネルギー学科准教授)
発表者がパネリストとなり、今後の環境教育やESDのあり方等をディスカッションします。

16:20～交流タイム

会場後方パネル展示エリアで自由に名刺や情報交換
司会:石垣のりこ(Date fm)

パネル展示
ブースも



青森県：NPO法人 かなぎ元気倶楽部

『森の恵みに育まれた町
～青森ひば(ヒノキアスナロ)の一生～』

地域の資源である青森ひばの生態を知るとともに、ひばと地域のつながり・歴史を学んで、地元の資源のすばらしさを考えるきっかけとなるようなプログラム。

岩手県：NPO法人 環境パートナーシップいわて

『身近な自然と「水」と「生き物」
のつながり』

大槌・釜石地区で、川での生き物や湧水の観察などを通じ、生き物や湧水と地域との関係を学ぶ。また地域の資源がなぜ貴重であるかを考え、地域の将来像を考えるためのきっかけづくりになるようなプログラム。

宮城県：NPO法人 まなびのたねネットワーク

『木のパワーを探ろう！
～使って守る川崎の森と暮らしと未来～』

「NPO法人川崎町の資源をいかす会」と連携して、川崎町の資源である木を題材に伐採の知識や木の活用、人と動物と森林の関わりについて学び、100年後の未来まで森林を守るためにできることの意識を高める。

秋田県：一般社団法人 あきた地球環境会議

『地球の仲間とつながろう
森の人「オランウータン」と一緒に
生きる喜びを！』

動物と人間の関係性をカードゲームを通して体験し、世界中の絶滅危惧種について考え、絶滅の危機から救うこと(社会のルール)について学び、地域の絶滅危惧種保護活動へ結びつくプログラム。

山形県：カワラバン

『サクラマスを育む川
～鮭川のレシピ～』

鮭川に生息する全国的にも貴重なサクラマスの生態について学び、さらに鮭川村に伝わる郷土料理を再現して、地域の恵まれた環境とその価値を再認識するプログラム。

福島県：NPO法人 いわきの森に親しむ会

『山と海をつなぐ川を調べ、
自然と人とのかかわりを考えよう』

地域の川を中心テーマに、流域全体や生き物などを観察し、地元の貴重な自然環境や川の役割を知るとともに、自然と人間生活との関係性を考えるきっかけとなるプログラム。

会場アクセス

日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）
2階「交流ホール」

所在地：〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
TEL：022-276-2110

地下鉄：仙台駅から市営地下鉄・泉中央方面行き10分、
「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分

バス：バス停「地下鉄旭ヶ丘駅」より徒歩2分

車：地下駐車場あり
(100台、料金：2時間まで200円 以後30分毎50円)

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。



※切り取らずにそのままFAXしてください。

参加お申込み書

送付先FAX:022-219-5713

FAX・メールでお申込みの方には、受付完了のご連絡をいたします。送信後3日経過しても事務局から連絡がない場合にはお手数ですがお問い合わせください。電話でも受け付けています。いただいた情報は、イベントの実施以外の目的には使用いたしません。会場に空きがあればお申込みなしで当日参加も可能です。

氏名	所属	電話番号